

この夏開かれるインターハイ「はばたけ世界へ
南東北総体 2017」に向けて頑張っている仲間たちを
高校新聞部の皆さんが取材した学校新聞を募集します。
インターハイへの出場はかなわなくても、地区予選や運動部の
活動を取り上げた新聞なら応募可能です。
関連の記事1本だけでも審査対象となりますので、ふるってご応募ください。

地区予選
だけでも
応募できます

第4回 高校新聞部

インターハイ 新聞コンクール

主催：読売新聞社 後援：公益社団法人全国高等学校文化連盟／公益財団法人全国高等学校体育連盟

全国に届けよう！ 仲間たちの汗と涙

■ 募集内容

インターハイ予選から本選まで、皆さんの学校の選手やチームの活躍の様子、ドラマ、試合結果を中心に取材して記事を書いてください。選手やチームを支えるマネージャーや吹奏楽部、大会の準備を手伝った生徒なども取材対象になります。コラムや迫力のある写真も大歓迎です。特集紙面でも通常紙面の関連記事でも応募できます。希望校には審査後、講評をお送りします。

■ 応募方法

裏面の申込書を同封して、9月8日(金)までに下記宛先まで作品を5セット郵送してください。詳しくは別紙「実施要項」をお読みください(読売教育ネットワークのウェブサイトにも掲載)。

■ 結果発表

11月初め頃、読売新聞紙上で発表の予定です。入賞作品は表彰して、読売教育ネットワークのウェブサイトに掲載します。



2016年度 最優秀賞・読売新聞社賞
兵庫県立神戸鈴蘭台高校
「鈴高新聞」第158、159、160号、「鈴高
miniプレス」第2419～2536号のうち40点
(号外1点含む)

応募締切 9月8日(金) 必着

最優秀校の新聞部は「北斎とジャポニスム」展
(東京・国立西洋美術館)の取材ができます。

※ご応募いただいた個人情報は、本コンクール関連業務以外には使用しません。

問い合わせ・申し込み 読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局内「インターハイ新聞コンクール」係

☎ 03-3217-1967 (平日10:00～18:00) Fax: 03-3217-1968 Mail: academy@yomiuri.com Web: http://kyoiku.yomiuri.co.jp/

第4回 高校新聞部 インターハイ新聞コンクール 参加申込書

学校名と部の名称	
学校の住所	〒
顧問の氏名	
電話番号	
メールアドレス	
講評	希望する 希望しない

「インターハイ新聞コンクール」係へのメッセージがありましたら、お書きください。

応募締切

9月8日(金)必着

第4回 高校新聞部インターハイ新聞コンクール＜実施要項＞

2017年5月 読売新聞社

【募集対象】

2017年度の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）や県高校総体で活躍した選手やチーム、それを支える人々取材し、制作した学校新聞。通常発行している学校新聞のインターハイ特集ページのほか、インターハイ・県高校総体を取り上げた記事が載っているページだけでも応募できます。

【取材対象】

出場する選手・チームの練習や試合のほか、それを支え、応援する人々（監督、コーチ、マネージャー、OB・OG、吹奏楽部、保護者、地域の人々など）、大会の準備をしてきた人々（会場設営担当者、プラカード係など）、インターハイに関わる環境美化のボランティア活動など、インターハイや県高校総体に関わる記事であれば何でも結構です。

※県高校総体で敗退し、インターハイに出場できなかった場合は、それまでの練習や県総体の試合結果を取材したもので構いません。また、インターハイの現場へ取材に行けなくても、本選の結果や、選手・チームが学校に戻ってきた後のインタビューなどを盛り込んだ新聞でも応募可能です。

【作品の応募】

9月8日（金）必着で5セットを下記へ郵送してください。メール（PDFまたはJpeg添付）でも受け付けます。必ず、同封の参加申込書を添付して下さい。なお応募した作品は返却しません。

＜応募先＞ 〒100-8055（住所不要）読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局内「インターハイ新聞コンクール」係。メール：academy@yomiuri.com

【審査・表彰・発表】

審査は新聞の総合力だけでなく、キラリと光るインターハイ記事やレイアウト、写真などを評価します。原則として、最優秀作品1点、優秀作品5点を表彰します。結果は11月初め頃、読売新聞紙上にて発表し、最優秀・優秀作品は読売教育ネットワークのウェブサイトに掲載します。また、最優秀賞の受賞校は、東京・上野の国立西洋美術館で開催される「北斎とジャポニスム」展（2017年10月21日～18年1月28日）の取材ができます。なお、遠隔地の場合、交通費と宿泊費は主催者が負担します。

◆取材上の注意点.....

【県高校総体の取材】

会場の担当者から取材の許可を得て、その指示に従ってください。新聞部の腕章を付けるなど、大会を取材していることが周囲に分かるようにしてください。

【インターハイの取材】

自校の選手・チームがインターハイ本選に出場する学校の新聞部は、読売新聞を通じて、その競技の取材を申し込むことができます。①日時②会場名③取材を希望する競技④人数⑤連絡先を明記して、上記のコンクール係に申し込んでください。